

国語②

【中学校 国語4四】

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる

岐阜県

正答率

41.0%



『必然』のある交流を通して自分の考えを再構築する場を位置付けましょう！

ここを大切に！

☑ 考えたいと思える課題の設定・内容を吟味する。

☑ 交流の中で明らかになったことを、視点をもって改めて言語化する場を設定する。

☑ 「自分の考えがより確かなものになったな」という子どもの思いを大切にする。

実践例 中学校1年「少年の日の思い出」



「一つ一つ」「粉々に」という表現をつないで考えると、『僕』には、もうどうやっても償うことができない」という思いから押しつぶしたのだと思う。

私はこう考えたけれど、他にどんな考えがあるのか、聞いてみたいな。

ちょうを「宝石」にするエーメールと、獲物を「宝物」だと考えている「僕」は、元から分かってもらえないことを感じていたのに、説明に行って拒否されたんだね。

キーワード

「闇の中で開いた。」の「闇」から、ちょうを直視できないことが分かるよ。嫌だけど自分に罰を与える方法はそれしかないと思ったんだね。

情景描写



「押しつぶしてしまった」のところから、「押しつぶした」と比較すると、そうせざるを得ない様子が読むことができると思うな。

置き換え

■交流を見届ける視点

- ・根拠はあるか。
- ・どの観点に着目しているか。
- ・共通点や相違点を見つけているか。



「説明しようと試みる」「おもちゃをやる」「ちょうの収集を全部やる」のところから何とかエーメールに分かってもらおうとしたけれど全部拒否されて、償うことができないことが分かったんだね。

行動

■考えを再構築する視点

- ・やっぱり～（強化）
- ・付け足して～（付加）
- ・変わって～（変容）
- ・広げて～（拡張）
- ・つなげて～（統合）



初めは考え方の違うエーメールに分かってもらえず、どうしようもないという思いだけだったけれど、ちょう集めをする資格がない自分に罰を与えるという思いから、押しつぶしてしてしまったという考えが付け足されたな。

仲間と交流すると読みの根拠や観点が増えて自分の考えが深まるな。また交流したい！

